



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 8,655 | △8.6 | 157 | △72.2 | 330 | △49.9 | 151 | △63.2 |
| 2020年3月期第2四半期 | 9,465 | 9.8 | 566 | — | 659 | — | 410 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 245百万円 (△40.3%) 2020年3月期第2四半期 411百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 1.49 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 4.05 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 17,917 | 13,272 | 74.1 |
| 2020年3月期 | 17,625 | 13,127 | 74.5 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,272百万円 2020年3月期 13,127百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期の配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに、公表させていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。

連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 101,295,071株 | 2020年3月期 | 101,295,071株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 230株 | 2020年3月期 | 230株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 101,294,841株 | 2020年3月期2Q | 101,294,946株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう“美”に関する多彩なサービスを提供する『美の総合総社』の実現にむけ、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品ならびに、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費マインドの低下が進み、緊急事態宣言解除後に段階的に経済活動が引き上げられたものの、感染再拡大の懸念も続いていることから、景気の先行きは不透明な状態で推移いたしました。

このような環境の中、本年4月から5月にかけては、緊急事態宣言下で当社グループの各店においても休業や時短営業を余儀なくされましたが、店舗の清掃や従業員の検温と新型コロナウイルス抗体検査の実施など、徹底した新型コロナウイルス対策による安心・安全な施設環境作りが奏功したことにより、緊急事態宣言解除後の店舗休業明けから、顧客の来店数は回復基調で推移いたしました。

また、テレビCMの放送再開やWEB広告など、多彩なメディアプロモーションを推進した結果、新規顧客の来店予約数が順調に増加いたしました。さらに、主要の補整下着関連事業においては、様々な購入特典や、分割手数料ゼロキャンペーンを実施するなど、お客様のニーズに合わせた販売促進施策が大きく寄与したことから、売上においても回復基調で推移いたしました。

一方、婚礼・宴会関連事業では、コロナ禍による自粛ムードの高まりから、挙式や宴会においては延期やキャンセルが相次ぐ厳しい状況の中、来期以降のブライダル予約獲得に向けた取り組みにシフトいたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高86億55百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益1億57百万円（前年同期比72.2%減）、経常利益3億30百万円（前年同期比49.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億51百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言下で休業や時短営業を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス対策による安心・安全な店舗環境作りの対策を徹底し、緊急事態宣言解除後の店舗休業明けから、テレビCMの放送再開など、多彩なメディアプロモーションの強化により、来店数が回復基調で推移いたしました。

また、各種プロモーションが奏功した結果、特にミドルエイジ顧客層が増加しており、同年代層向け商品のベルアージュ・アヴァンセ・サクラの新色（限定）『Belleages Avance Sakura Creir Red/Creir Brown（クレイアレッド/クレイアブラウン）』を2020年8月に発売いたしました。同商品においては、多くのお客様からご注文を頂き、翌月の9月末にはほぼ完売となるなど、大変好評を得ました。

以上の結果、売上高は76億0百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は3億10百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、巣ごもり消費による需要拡大を効果的に取り込んだことで、主力のECサイトでの売上が堅調に推移いたしました。

一方、新型コロナウイルス感染再拡大の懸念にともなう外出自粛ムードの高まりや、緊急事態宣言下での店舗休業により、店舗売上が大幅に減少したこと、ならびに昨年11月にカタログギフトから完全撤退したことから減収となりました。

以上の結果、売上高は7億41百万円（前年同期比36.1%減）、セグメント損失は42百万円（前年同期は10百万円の利益）となりました。

〔その他〕

その他においては、MISEL株式会社の婚礼・宴会関連事業ならびに美容関連事業など、『美の総合総社』の実現に向けた新規事業の開発・育成が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言下で休業や時短営業を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス対策による安心・安全な施設環境作りの対策を徹底し、緊急事態宣言解除後の店舗休業明けから、美容関連事業の来店数が順調に回復いたしました。

一方、婚礼・宴会関連事業では挙式の延期や宴会のキャンセルに対応するとともに、施設環境の改善ならびにコロナ禍明けを見越した新たなコンテンツの開発に注力するなど、中長期の成長に向けた取り組みにシフトいたしました。

以上の結果、売上高は3億39百万円（前年同期比27.3%減）、セグメント損失は1億10百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は123億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億48百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加及び売掛金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は55億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は40億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加及び未払法人税等の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は5億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は132億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は68億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ、19億36百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は15億21百万円（前年同期は10億48万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の減少14億30万円、たな卸資産の減少3億6百万円、税金等調整前四半期純利益2億58百万円等による資金の増加、未払消費税等の減少3億69百万円及び株主優待引当金の減少1億59百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は7億7百万円（前年同期は3億72百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入22百万円による資金の増加、関係会社貸付けによる支出5億円及び有形固定資産の取得による支出1億63百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は11億22百万円（前年同期は1億58百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額13億円等による資金の増加、配当金の支払による1億円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の懸念等により、当社を取り巻く環境に不確定要素が多く存在することから引き続き「未定」としております。

今後、適正かつ合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

また、上記の通り2021年3月期業績予想を「未定」とすることから、配当予想につきましても「未定」といたしますが、業績予想の算定ができ次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,912,831 | 6,849,626 |
| 売掛金 | 4,222,377 | 2,739,144 |
| 商品 | 1,924,515 | 1,645,701 |
| 原材料及び貯蔵品 | 292,378 | 264,973 |
| その他 | 644,111 | 936,356 |
| 貸倒引当金 | △62,089 | △53,672 |
| 流動資産合計 | 11,934,124 | 12,382,128 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,838,526 | 1,926,178 |
| その他(純額) | 1,759,445 | 1,676,535 |
| 有形固定資産合計 | 3,597,971 | 3,602,714 |
| 無形固定資産 | | |
| | 535,199 | 473,204 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,557,869 | 1,510,963 |
| 貸倒引当金 | — | △51,734 |
| 投資その他の資産合計 | 1,557,869 | 1,459,228 |
| 固定資産合計 | 5,691,040 | 5,535,147 |
| 資産合計 | 17,625,165 | 17,917,276 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 812,743 | 818,892 |
| 短期借入金 | — | 1,300,000 |
| 未払法人税等 | 395,506 | 133,513 |
| 賞与引当金 | 186,760 | 161,500 |
| 返品調整引当金 | 11,000 | 6,000 |
| ポイント引当金 | 190,000 | 217,000 |
| 株主優待引当金 | 296,446 | 137,193 |
| 資産除去債務 | 18,551 | 16,204 |
| その他 | 1,909,482 | 1,305,702 |
| 流動負債合計 | 3,820,490 | 4,096,004 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,086 | 1,043 |
| 退職給付に係る負債 | 116,060 | 7,439 |
| 資産除去債務 | 391,956 | 401,919 |
| その他 | 166,715 | 138,693 |
| 固定負債合計 | 676,819 | 549,096 |
| 負債合計 | 4,497,309 | 4,645,100 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,491,360 | 6,491,360 |
| 資本剰余金 | 6,473,978 | 6,473,978 |
| 利益剰余金 | 347,451 | 397,210 |
| 自己株式 | △53 | △53 |
| 株主資本合計 | 13,312,736 | 13,362,495 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 6,834 | 7,376 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △191,715 | △97,696 |
| その他の包括利益累計額合計 | △184,880 | △90,319 |
| 純資産合計 | 13,127,855 | 13,272,175 |
| 負債純資産合計 | 17,625,165 | 17,917,276 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 売上高 | 9,465,070 | 8,655,086 |
| 売上原価 | 2,271,728 | 2,076,346 |
| 売上総利益 | 7,193,342 | 6,578,739 |
| 返品調整引当金戻入額 | 11,000 | 11,000 |
| 返品調整引当金繰入額 | 11,000 | 6,000 |
| 差引売上総利益 | 7,193,342 | 6,583,739 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,626,947 | 6,426,462 |
| 営業利益 | 566,394 | 157,276 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 2,016 |
| 受取手数料 | 84,701 | 69,456 |
| 株主優待引当金戻入額 | — | 99,283 |
| その他 | 10,819 | 9,461 |
| 営業外収益合計 | 95,552 | 180,217 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 104 | 2,626 |
| 為替差損 | 955 | 1,802 |
| 租税公課 | — | 1,699 |
| その他 | 1,379 | 1,146 |
| 営業外費用合計 | 2,439 | 7,274 |
| 経常利益 | 659,508 | 330,219 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 124 |
| 新型コロナウイルス感染症による助成金収入 | — | 40,701 |
| 特別利益合計 | — | 40,826 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 247 | — |
| 減損損失 | 3,191 | 291 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | — | 98,030 |
| その他 | 4,173 | 13,792 |
| 特別損失合計 | 7,612 | 112,114 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 651,895 | 258,931 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 205,499 | 59,003 |
| 法人税等調整額 | 35,753 | 48,873 |
| 法人税等合計 | 241,252 | 107,877 |
| 四半期純利益 | 410,643 | 151,053 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 410,643 | 151,053 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 410,643 | 151,053 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 342 | 542 |
| 退職給付に係る調整額 | 620 | 94,018 |
| その他の包括利益合計 | 963 | 94,560 |
| 四半期包括利益 | 411,606 | 245,614 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 411,606 | 245,614 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 651,895 | 258,931 |
| 減価償却費 | 152,393 | 199,632 |
| 減損損失 | 3,191 | 291 |
| 長期前払費用償却額 | 6,669 | 9,279 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 15,497 | 43,317 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △22,240 | △25,260 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | — | △5,000 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 97,902 | 27,000 |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | △30,824 | △159,253 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △648 | △108,620 |
| 受取利息 | △32 | △2,016 |
| 支払利息 | 104 | 2,626 |
| 助成金収入 | — | △40,701 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 247 | △124 |
| 固定資産除却損 | 3,012 | 7,465 |
| 賃貸借契約解約損 | 885 | 4,388 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 733,609 | 1,430,160 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △2,693 | 306,048 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △9,273 | 131,995 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | 25,723 | 7,192 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 233,113 | 160,539 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △362,619 | 6,588 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △171,686 | △125,001 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △135,450 | △76,992 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 45,609 | △9,469 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △55,825 | △369,472 |
| その他 | 73,041 | 87,507 |
| 小計 | 1,251,606 | 1,761,051 |
| 利息の受取額 | 32 | 2,016 |
| 利息の支払額 | △104 | △4,570 |
| 法人税等の支払額 | △203,203 | △275,958 |
| 助成金の受取額 | — | 39,136 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,048,330 | 1,521,674 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 関係会社貸付けによる支出 | — | △500,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △128,245 | △163,919 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 225 | 22,134 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △14,927 | △10,701 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △212,479 | △45,292 |
| 差入保証金の差入による支出 | △12,207 | △18,160 |
| 差入保証金の回収による収入 | 15,935 | 14,730 |
| その他 | △20,724 | △5,862 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △372,422 | △707,071 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | 1,300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,888 | △3,121 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △28,541 | △30,992 |
| 自己株式の取得による支出 | △20 | — |
| 配当金の支払額 | △100,626 | △100,775 |
| 株主優待費用による支出 | △24,315 | △42,534 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △158,392 | 1,122,576 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △280 | △384 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 517,234 | 1,936,794 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,359,868 | 4,912,831 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 65,989 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,943,093 | 6,849,626 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------------|------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 婦人下着及び その関連事業 | マタニティ 及びベビー 関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 7,873,314 | 1,135,210 | 9,008,525 | 456,545 | 9,465,070 | — | 9,465,070 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | 25,092 | 25,092 | 10,852 | 35,945 | △35,945 | — |
| 計 | 7,873,314 | 1,160,302 | 9,033,617 | 467,398 | 9,501,016 | △35,945 | 9,465,070 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 577,136 | 10,256 | 587,392 | △20,732 | 566,659 | △265 | 566,394 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援、シェアリングサービス、ブライダル及びヘアサロン等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------------|------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 婦人下着及び その関連事業 | マタニティ 及びベビー 関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 7,599,183 | 728,835 | 8,328,018 | 327,067 | 8,655,086 | | 8,655,086 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 900 | 12,761 | 13,661 | 12,601 | 26,263 | △26,263 | |
| 計 | 7,600,083 | 741,596 | 8,341,680 | 339,669 | 8,681,349 | △26,263 | 8,655,086 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 310,223 | △42,869 | 267,354 | △110,332 | 157,021 | 255 | 157,276 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援、シェアリングサービス、ブライダル及びヘアサロン等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額255千円には、セグメント間取引消去△161千円、減価償却の調整額416千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。